



興譲館における 批判的思考力の測定尺度の作成

山形県立米沢興譲館高等学校 齋藤誉生 須藤龍星 菊地悠 安藤純花

動機

興譲館が生徒の育成に力を入れている3つのコンピテンシーを構成する能力の中に、「批判的思考力」という項目がある。しかし、私たちはこの批判的思考力が何かよくわかっていなかった。そこでこの能力について調べていく中でそれをきちんと捉える手法が見られないことを知った。私たちはより精度の高い測定尺度の作成と活用の仕方を批判的思考力を捉えるために考えた。

構想

①生徒本人が行う主観的な測定尺度の作成

②教師が行う客観的な測定尺度の作成

二つの尺度を併用し、授業に活かす

批判的思考力について

批判的思考とは

論理的で証拠に基づく偏りのない思考
自己の思考を意識的、熟慮的に吟味する内省的思考であり、何を信じ主張し行動するかを支えている思考。

構成要素

批判的思考の構成要素は、態度とスキルに分けることができる。

<態度>

①生活全般における一般的な批判的思考態度

②学習場面における思考態度

<スキル>

③認知された学習コンピテンス

④認知的熟慮性－衝動性

(補見考「小学校高学年・中学生の批判的思考態度の測定」より)

方法

1.手続き

- ・調査時期：2022年 9月22日～28日
- ・調査対象：山形県立米沢興譲館高校
1年生102人 2年生80人 3年生37人

・方法

全30問から成る予備調査をGoogleフォームを用いて集計した。不良項目は、天井効果、フロア効果を中心にローデータをチェックした。

2.<作成した測定尺度例>

項目

- ・私は新しいことを次々学びたいと思う
- ・私は授業でよく発言している
- ・私はグループ活動は積極的に参加する
- ・私はよく考えずに実行してしまうほうだ

<統計処理について>

・5件法

5つの選択肢に0～4をコーディングしてそれぞれの質問項目で平均値を算出し、0.5～3.5の範囲内にあることを確かめる。

・α係数の算出

$$\alpha = \frac{m}{m-1} \left(1 - \frac{\sum_{i=1}^m \sigma_i^2}{\sigma_x^2} \right)$$

「クロンバックのアルファ(α) | 統計用語集」より
(参照日 2022年9月7日)

結果

尺度の信頼性の推定、予備調査を実施した結果、測定平均値0.5以下、3.5以上の不良項目は見られなかった。信頼性の推定については、古典的には安定性を図るのが一般的である。そこでクロンバックのα係数を用いて、各概念ごと算出した。いずれの批判的思考力の構成概念も0.7～0.8の値を示しており、尺度の安定性は確保できている。

構成要素	平均値	α係数
①	2.808675799	0.8129708647
②	3.062557078	0.8468305416
③	2.692237443	0.8138945788
④	2.588127854	0.5596445787
合計	2.787899543	0.9023575701

結論

以上のことから、①生徒が行う主観的な測定尺度の作成については一つの成果を得ることができた。今後、基準関連妥当性、構成概念妥当性を推定する必要がある、②へ用いたい。